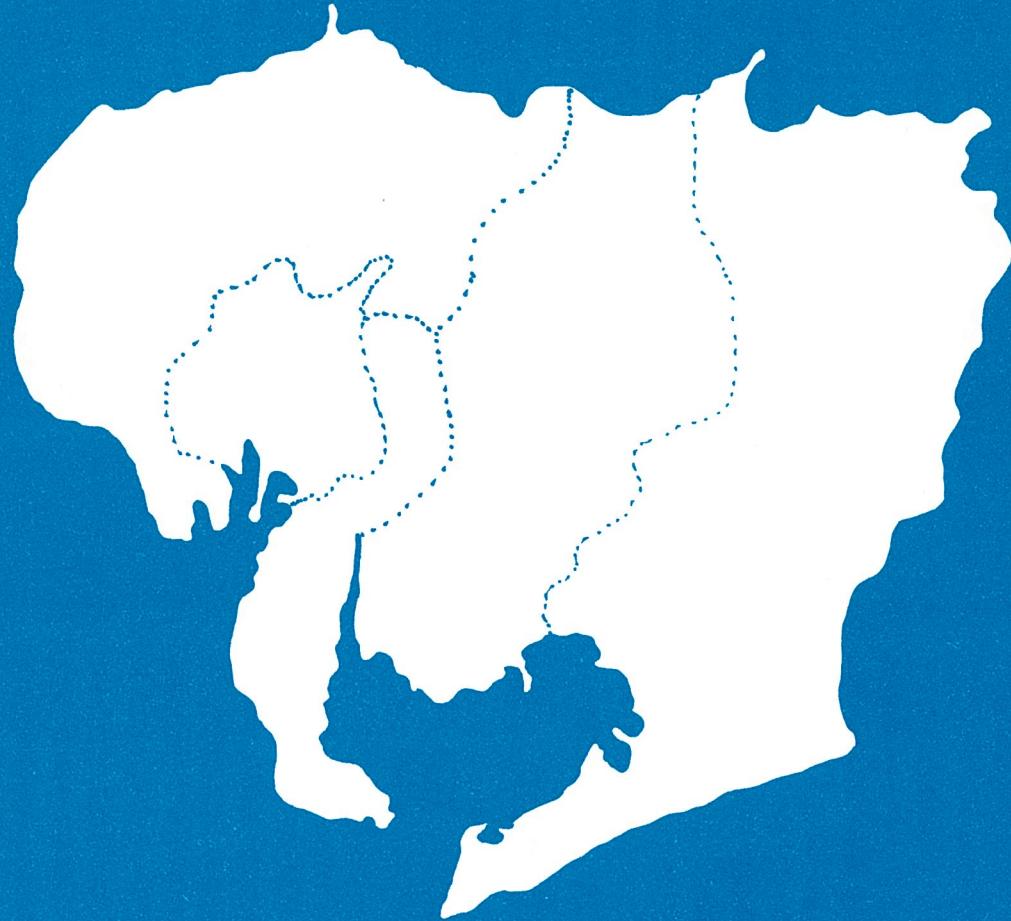


観の眼



—— 目 次 ——

卷頭言	1	横山先生遺稿	11
49回国体を顧みて	2	遺稿によせて	12
わかしゃち国体をおえて	3	大会記録	13~16
49回国体に携わって	4~5	称号段位合格者	17~18
国体の戦績	6~10	連盟所在地	18
選手の一言	11	編集後記	18

第19号



財団
法人

愛知県剣道連盟

愛知県剣道連盟が、昭和六十二年七月、財団法人の認可を受け、公益法人として出発してから八年を経過しました。財団法人設立は、当時の草創期の渾沌から着々と組織の基盤が固められ、現在当連盟は、変わることなく剣道の普及振興の使命を果たしつつあります。

このたび、谷理事長のご勇退に伴い、私が平成七、八年度の理事長に選出され、四月に就任いたしました。もとより浅学菲才の身で、荷の重い役であります。会長さんははじめ、役員、会員の皆様のご支援ご協力を得て、力を尽くす所存であります。

本連盟は、昨年第49回の国民体育大会において、開催県の名誉と責任を賭けて健闘の結果、剣道総合優勝の栄誉に輝き、大きな成果をあげました。連盟一丸となって邁進した努力が結実したわけで、この面でも大きな教訓を得ることができました。この成果は、今後の本県剣道の発展のための大きな因子となることと思ひます。

女子剣道につきましては、一般女

国体を顧みて（総括）

愛知県剣道連盟参与

福 田 俊 雄

「いい汗キャッチ！生き生き愛知」

をスローガンとして開催された、第

四十九回国民体育大会（わかしやち

国体）剣道競技会は、昨年十一月二

日に数々の出会いとあたたかいふれ

あいの輪を広げ、盛会裡にその感動

の幕を閉じた。

これは、皆様の長年にわたるご努力とご協力の賜物であり、大会まで

のあゆみを回顧してみると、天

昭和六十年四月愛知県教育委員会

内に国体準備事務室が設置され、そ

れと同時に県剣連は選手強化訓練を

開始した。平成元年一月全剣連は西

尾市を視察、県剣連・西尾市と三者

で協議した。

同二年十月第四十五回大会（福岡・とびうめ国体）をはじめとして、以後毎年、県剣連と西尾市は石川・山形・東四国の各大会を視察した。



卷頭言

財団法人 愛知県剣道連盟

理事長 中村 薫

子、家庭婦人層において大きく発展しつつあり、全国大会をはじめ多くの大会が実施されています。本県においても、本年九月、愛知県武道館において、第34回全日本女子剣道選手権大会を開催いたしました。この大会は、愛知県開催は初めてのことであり、今後とも当地域での全国規模の大会ということで、女子剣道のレベルアップに大きな効果があると

思います。

女子の稽古会につきましては、各

地区交流の合同稽古会も大分以前よ

り実施されており、参加者も多く、

意欲もあります。こう

した努力と実績を基盤にして、県連

も女子部を創設いたしました。今後

とも、各地区剣道連盟との密接な連

携を保ちながら、女子剣道の益々の

発展を期待しています。

口が、自然減少3.6%より多い5.6%減となっています。その他一般の道場等における少年の数も激減しています。

剑道人口減少の理由としては、近

年サッカーブームがあります。

サッカーを見るスポーツとしての検討が加えられて、引き分けなしとし

たり、少年サッカーチームを結成して、Jリーグに結びつけたり、魅力

次に現代剣道のかかえる剣道人口減少の問題があります。日本武道館の片岡常任理事の「武道の現状と問題点」と題する講話は次のような内

容でした。わが国においては、出生率の低下により青少年人口の減少が目立ちます。剣道にとって問題なのは、剣道人口が、この自然減少よりも多く減少化の傾向にあるということです。例えば東京の中学校の剣道人

は、剣道人口が、この自然減少よりも多く減少化の傾向にあるということです。例えば東京の中学校の剣道人

づくりのためいろいろな工夫がなされ多くの青少年を動員しています。次に、受験戦争のための塾があります。伸び盛りの年代に塾があります。文部省においても、指導者養成について制度の改善や新設等の諸施策を講じています。

これらいわゆる剣道ばなれへの対策としては、何といっても指導者の確保が最大の課題であります。また、きっと剑道の問題があります。汚い、危険の3Kを避けようとする気迫不足の現代の若者気質があります。その他経済的負担が大きいこともあります。

剑道の問題があります。他の経済的負担が大きいこともあります。そこで制度の改善や新設等の諸施策を確保が最大の課題であります。文部省においても、指導者養成について制度の改善や新設等の諸施策を講じています。

最近世間を騒がせているテロ集団の実態は恐るべきものです。偏差値エリートをつくりだす現代の教育では、心の教育が行われません。心の無知は自然破壊、精神崩壊につながり、人間は知的野獣になる虞れがあります。剣の五徳といわれる正義、廉恥、勇武、礼節、謙讓の心こそ人間形成の基をなす要素です。二十世紀の正しい生き方のために、剣の本質を再認識し、光を放つものにしてください。

会員皆様のご指導、ご支援をお願い申上げます。

とにかく、心の教育が行われません。心の無知は自然破壊、精神崩壊につながり、人間は知的野獣になる虞れがあります。剣の五徳といわれる正義、廉恥、勇武、礼節、謙讓の心こそ人間形成の基をなす要素です。二十世紀の正しい生き方のために、剣の本質を再認識し、光を放つものにしてください。

会員皆様のご指導、ご支援をお願い申上げます。

皇、皇后両陛下御臨席賜わるのは、今回愛知県では剣道とサッカーであった。初日、会場は観客で一杯に行が到着されると、誰からともなく拍手がおこり、陛下はこれに手を振つてお応えになりながら、二階正面に立つられた貴賓席におつきになつめられた。少年男子、少年女子の試合を約三十分程観戦された。全日本剣道連盟副会長（三重県・剣道九段）鷹尾先生の解説を熱心にきかれ、一試合終つたところで会場の人達の拍手におくられて、御退場になられた。

競技運営は、全剣連・県剣連・西尾市の連携を密にして行い、競技役員・補助員もスムーズな運営に努めた。選手強化策として、県外遠征・強化合宿等を積極的に実施したが、合宿について半年間にわたり、全面的にご協力を頂いた株式会社日本電装西尾製作所の皆様に、感謝の念を忘れてはならない。これら国体剣道競技会の運営についての裏方苦労話については、別記に詳しく述べてあります。

さらに嬉しいことに愛知県選手の戦績については、役員、観客一同の大歓声に応え、成年男団一部・成年男子二部の優勝をはじめ、少年男子三位・少年女子五位と入賞し、みご

愛知県剣道連盟は申すに及ばず、地元西三河の剣道連盟、さらに愛知県、西尾市に一方ならぬ御尽力を頂きました。これら愛知県選手の活躍は、「国体の戦績」として詳細に別記としてかかれています。

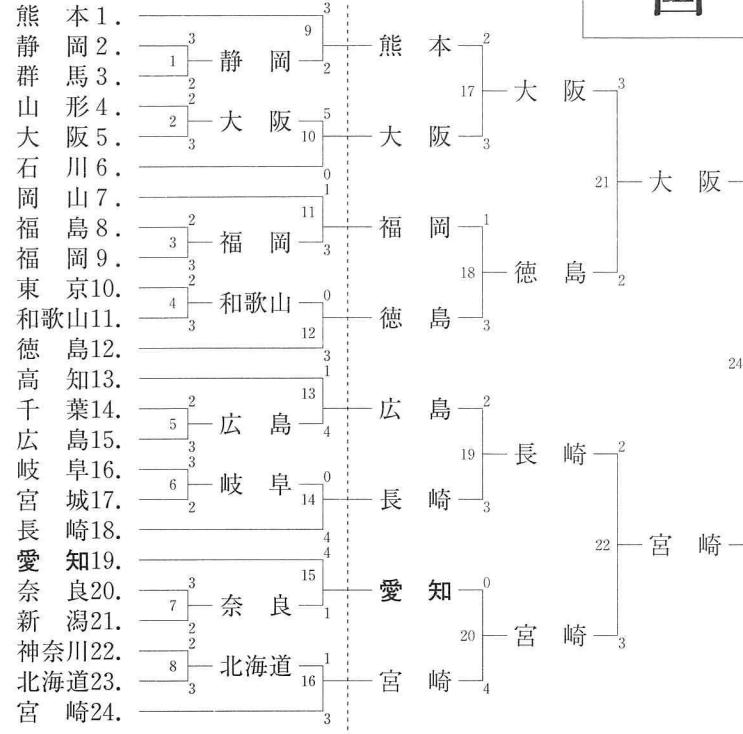
愛知県剣道連盟は申すに及ばず、地元西三河の剣道連盟、さらに愛知県、西尾市に一方ならぬ御尽力を頂きました。これら愛知県選手の活躍は、「国体の戦績」として詳細に別記としてかかれています。

このように、みんなの力で作り上げた国体成功の自信が、本県剣連の更なる発展の礎になることを念願して回顧の一筆とさせて頂きます。

組合せ

国体の戦績

少年女子



●愛知・奈良

ベスト8をかけた開催地愛知と奈良の対戦である。先鋒高林は小柄ながら足を使い、胴、面と連取。次鋒三浦も上段の杉垣に対し鍔競り合いから退き面、退き小手を取り王手。置田は小手、退き面と冴えた技で取し前三人で勝負を決めた。奈良の副将川西は気力で二本勝ちをし一矢を報いた。大将山本の小手、面も見事であった。愛知の苦しい強化の成績が出た一戦であった。



●愛知・宮崎

男子に続き準決勝進出をねらう愛知と強豪高千穂を中心とした宮崎県、男子と同じ組み合わせである。先鋒から両者白熱した試合を展開し、延長になつて甲斐が落ち着いて小手を決めまず一勝。次鋒も延長二回の末斐が出小手を決め愛知の望みを断つた。副将は流れに乗り面を連取。大将は引き分けであった。結果は宮崎の圧勝であったが、愛知の健闘を讃えたい。

川県・徳島県・山形県)の資料を参考にしながら、ワープロに打ち出した文字と毎日がにらめっこであった。競技員(一二四名)・補助員(一〇九名)全員がスムーズに競技運営を進めていくためのマニュアルで、誰から質問を受けても、きちんと解答ができるよう、あらゆる角度から検討しつつ進めていくと、かなりの時間と労力が必要とされた。必要な用具一覧表の作成をするにしても、夫々の係の業務内容が明確に把握されていないと作れない。また競技員・補助員の名簿を戴せる場合でも

さて、この冊子に基づいて、リハーサルを実施してみると、やはり机上の計画と実際との違いがあり、それらを修正しながら、やつとこの冊子が大会一か月前に完成した。何分にも、国体は初めての経験であり、試行錯誤の連続で思うように仕事が進まなかつた。幸いにして、県剣連理事長、谷先生並びに事務局長、竹味先生、竹内先生のご指導と、競技員・補助員の方々の献身的なご協力により、競技運営がスムーズにできしたこと、この紙面をお借りして、厚くお礼を申し上げたい。

なお、監督会議資料(三〇頁)の



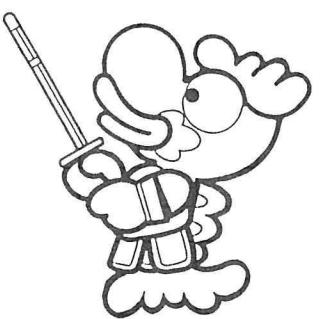
各所属長の許可が必要である。その為の手続きをしていると、そう一朝一夕にはかどらない。なお、業務内容については、より具体的にあらゆる場面を想定して作成した。例えば選手の入退場の際の誘導の仕方、時計係旗の上げ下げの仕方、対戦板の掲示方法、標示板による対戦結果の標示の仕方、戦評用紙の書き方、記録速報の印刷とその流れ、対戦結果の場内放送、競技記録の収集と県への報告の仕方等々いずれも、図で示さなければならないところが多く作成に一苦労した。

全国から集まる大会関係者をあたかく、そして真心で迎えるために、支えてこられた方々は次のようないしかし最も、この大会を陰の力で記したい。

何かと気配りされた民泊のおかあさ

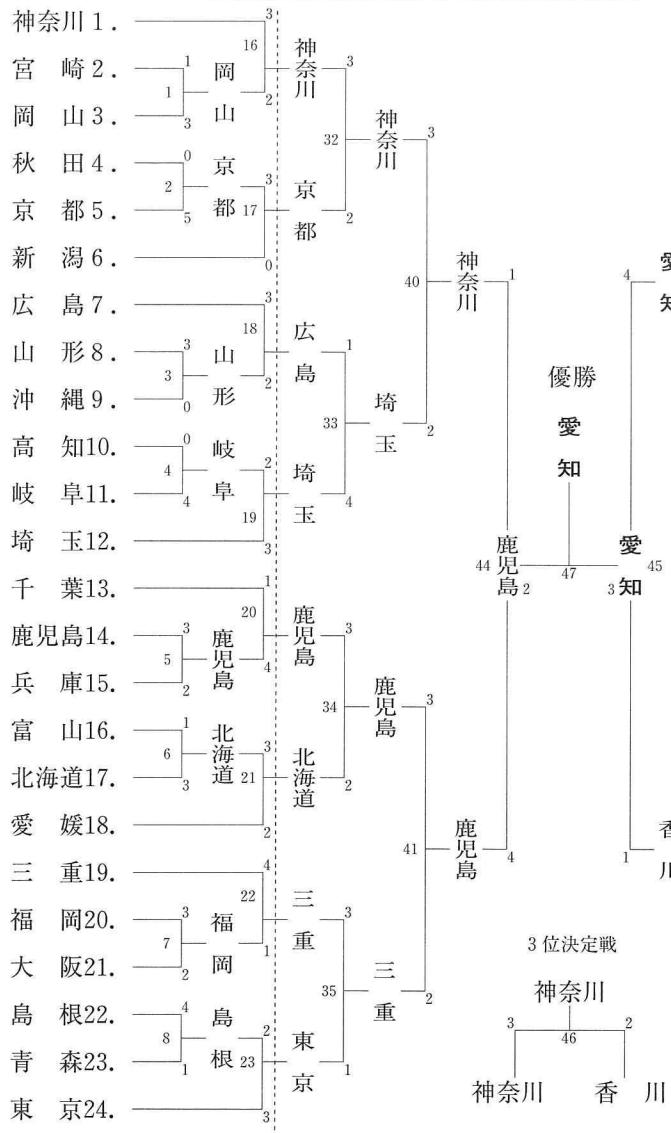
する数多くの選手名簿の作成、また不慣れな毛筆によるオーダー表の作成等々大変な仕事であったことも付記したい。

何年も前から飾花用の花を育ててこられた方々、選手たちに少しでも体力をつけて試合に望んでほしいと、国体献立の基準に少々はずれてでも、

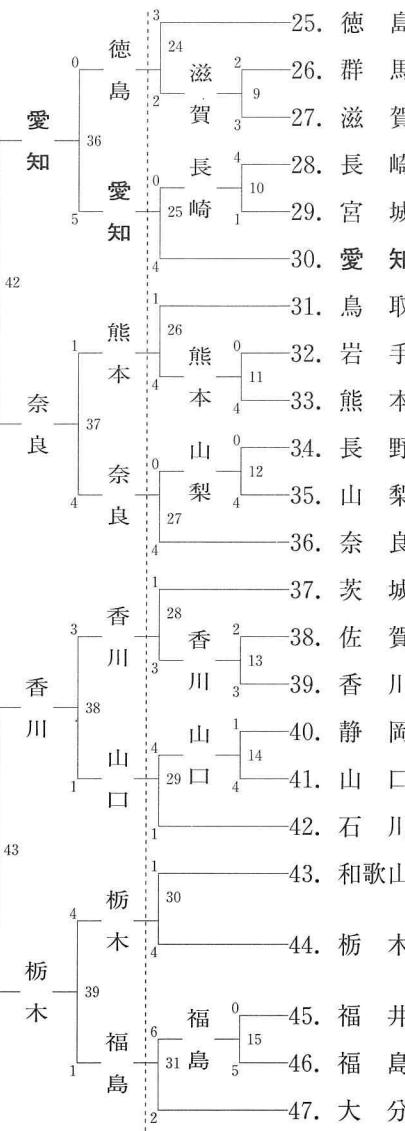


● 愛知 東京
何としても三位入賞を果たしたい
愛知と、接戦を落とし巻き返しを図
りたい東京との三位決定戦は、先鋒
で黒木が面返し胴、出小手と二本連
取し、好スタートを切るが、愛知次
鋒齊藤が長いリーチを活かした退面
を二本連取。さらに、中堅曾根が小
手を先取されながらも気迫の込もつ
た跳込面、さらに鍔ぜりから退き面
を決め、王手をかける。後がない東
京村田は果敢に攻めるが愛知眞田も
応戦。離れ際に退き面と相小手の後
で良い所なく来たが最後に意地を見
せ、愛知の三位が決定した。既に勝
敗は決した後だったが米屋が冴えの
ある技で二本勝ちし、好試合の幕を
閉じた。

成年一部

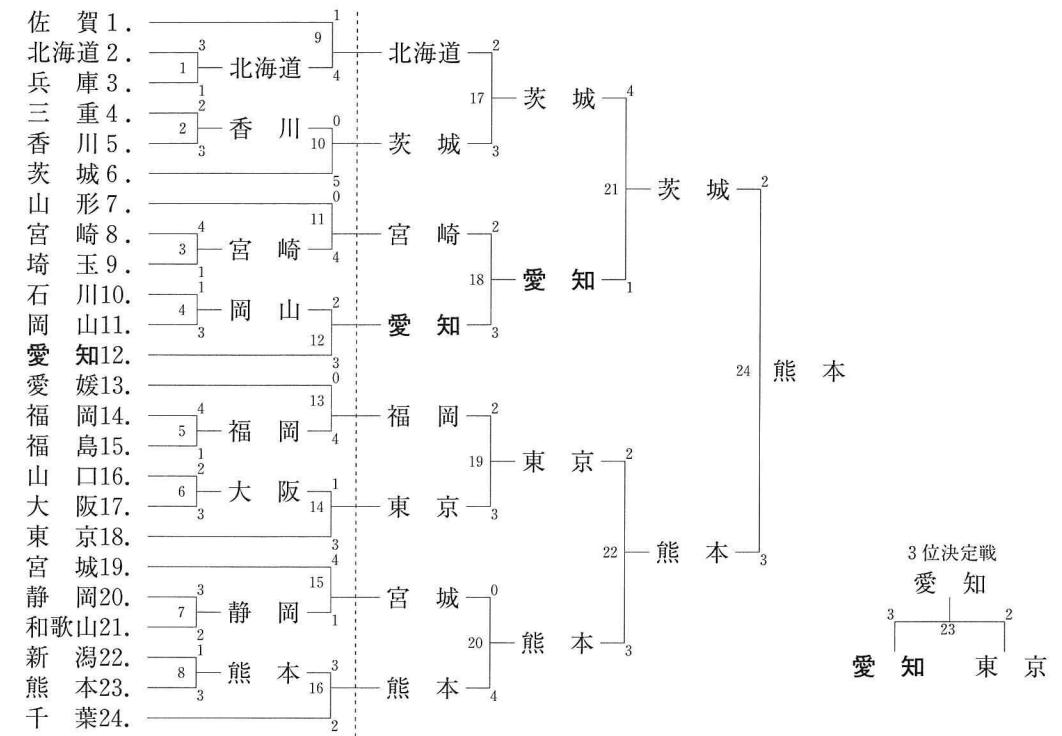


組合せ



ぐが茨城伸び伸びとした試合展開で
三連取して愛知の決勝進出を阻止下。

組合せ



3位決定戦
愛知
愛知 東京

先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数
岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	2	3
愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	3	6

● 愛知 岡山
開催地チームとして何としても一
勝を上げたい愛知。先鋒杉浦が開始
早々小手を先取するも退き面、退き
胴と連取され、苦しいスタートとな
るが次鋒、中堅と連取し、逆に王手
をかける。勝敗のかかった副将戦。
愛知の眞田は苦しい試合展開ながら
も延長二回の末、小手を取り愛知に
一勝をもたらした。破れたとはい
岡山の大将金光は小手の一一本勝を收
め、一矢報いた。

先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数
岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	2	3
愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	3	6

● 愛知 宮崎

観衆注目の一戦。愛知と宮崎は先鋒
轟木が愛知杉浦の手元の上がりを小
手と退き面で下す。次鋒は一本一本
から愛知齊藤面に乗れば見事に決ま
る。中堅は曾根が終始攻め踏み込ん
で小手に押さえそのまま一本を守り

切る。後のない宮崎尾前退き小手で
先行。眞田に面を返されるが延長一
回跳び込み面で大将につなぐ。共に

気迫充分で一本一本の後に川澄退き
面で決め強豪宮崎を振り切りベスト

4に進出。宮崎の健闘を讃えたい。

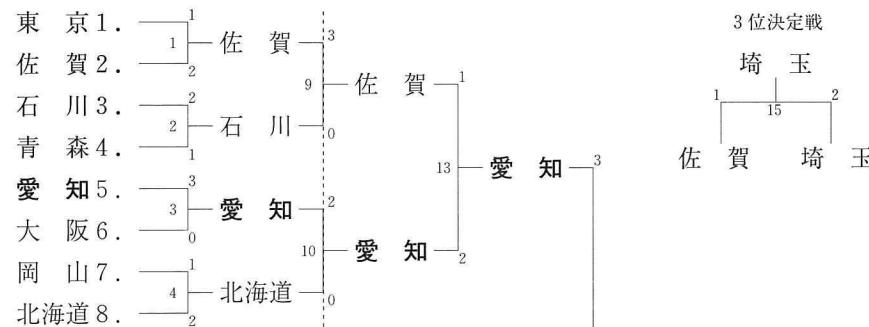
先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数
宮崎	轟木	坂本	栗林	尾前	2	6
愛知	杉浦	齊藤	曾根	眞田	3	6

● 愛知 茨城

決勝をかけて茨城と地元愛知が激
突する。立ち上がり茨城小島が追い
込んで面を先取。愛知杉浦も小手を
返すが最後に小手を押さえられ先鋒
戦を茨城が制す。次鋒愛知齊藤跳び
込み面をとり飯島も面に返すが齊藤
勝負で捨て身の面を決め中堅につな

先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数
茨城	小島	飯島	大内	高島	4	9
愛知	杉浦	齊藤	曾根	眞田	1	3

組合せ



成年二部

● 愛知 - 大阪
地元愛知と強豪大阪との対決。接戦が予想されたが、結果は愛知の一方的な勝となつた。愛知は先鋒速い動きから出頭面二本、中堅じっくり

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	藤島	穂園	大田	3	6
大阪	(メ)	(コ)	(コ)	0	0

● 愛知 - 北海道
ともに初戦に勝ち、勢いに乗る愛知と北海道の対決。愛知先鋒、中堅とともに初戦の動き、勢いそのままに二本勝ちをし、準決勝に進出を決めた。大将戦はお互い相譲らず、引き分けとなつたが見ごたえのある試合であった。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	藤島	穂園	大田	2	5
北海道	(メ)	(コ)	コ	0	1

● 愛知 - 福島
優勝をかけての一戦。決勝戦まで堅実な試合で勝ち上がって来た両チームだけに接戦が予想された。先鋒戦、愛知藤島は平野に面を先取されるが終始気魄に満ちた強気の攻めをみせ面体当たりから退き面、小手からの面と逆転の二本勝ちを收める。これを継いだ穂園は開始早々、長身から伸びのある飛び込み面を決め先行。その後、落ち着いた試合運びからさらに小手を取り二本勝。愛知の優勝が決定する。大将の大塚はこれを良くしのぎ、表から小手を押さえ一本勝とした。結果3対0の完封で、愛知は念願の優勝に花をそえた。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	藤島	穂園	太田	3	5
福島	(メ)	馬目	大塚	0	1

● 愛知 - 佐賀
地元愛知と佐賀が決勝をかけて激突する。先鋒戦は好調藤島が学生溝口の技を封じて面と小手に下す。中

過去四回優勝、四年ぶりの優勝をねらう鹿児島に地元愛知が挑む決勝戦は、歴史に残る好試合になった。今大会負け無しの先鋒近本が伸びの良い面を連取すれば、次鋒渡口が上段北村の一瞬の隙をついた退き面で決勝戦に駒を進め、三回戦屈指の好試合が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
佐賀	溝口	古賀	田原	1	2
愛知	(メ)	(コ)	(コ)	2	3

● 愛知 - 長崎
練習量豊富な徳島と愛知の対戦だ

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
徳島	飯田	玉田	鈴木	0	0
愛知	(メ)	(コ)	(メ)	5	5

● 愛知 - 奈良
小手、面に渡り、二勝目をあげ、勢いに拍車をかける。4対0愛知が圧勝し、攻めの剣道が印象にのこつた。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	近本	北村	山崎	4	5
奈良	(コ)	田口	松田	1	1

● 愛知 - 熊本
今大会に乗つている愛知と、強豪熊本を下して勢いに乗る奈良との対戦。準決勝進出をかけ、観衆を引き付ける戦いが期待された。先鋒近本、中心を攻めての激しい技の連續であるボイントを上げる。次鋒、中堅とも白熱した、息詰まる攻防。たび重なる延長を繰り返した。副将で勝負が決まつたものの無駄打ちのない緊迫した試合展開は観衆を魅了した。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	藤島	穂園	大田	3	6
熊本	(メ)	(コ)	(コ)	0	0

● 愛知 - 香川
決勝戦進出をかけての一戦。手堅い試合ぶりで接戦を勝ち抜いてきた地元愛知と果敢な攻めで冴えた技を決め勝ち上がりつて来た香川の対戦である。鍛錬の成果を感じさせる激しい攻防の中、先鋒近本が跳込面、次鋒北村が上段から鋭い小手を決め愛知が連勝。山崎が一本勝ちで副将へつなぐが、愛知の大嶽が豪快な面を決め愛知が決勝進出を決めた。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	末盛	渡口	松下	2	3
香川	(メ)	(コ)	(コ)	3	4

● 愛知 - 鹿児島
決勝戦進出をかけての一戦。手堅い試合ぶりで接戦を勝ち抜いてきた地元愛知と果敢な攻めで冴えた技を決め勝ち上がりつて来た香川の対戦である。鍛錬の成果を感じさせる激しい攻防の中、先鋒近本が跳込面、次鋒北村が上段から鋭い小手を決め愛知が連勝。山崎が一本勝ちで副将へつなぐが、愛知の大嶽が豪快な面を決め愛知が決勝進出を決めた。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	鹿児島	末盛	渡口	2	3
鹿児島	(メ)	(コ)	(コ)	3	4

● 愛知 - 佐賀
過去四回優勝、四年ぶりの優勝をねらう鹿児島に地元愛知が挑む決勝戦は延長の戦は、歴史に残る好試合になった。今大会負け無しの先鋒近本が伸びの良い面を連取すれば、次鋒渡口が上段北村の一瞬の隙をついた退き面で決勝戦に駒を進め、三回戦屈指の好試合が決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	佐賀	溝口	古賀	1	2
佐賀	(メ)	(コ)	(コ)	2	3

● 愛知 - 長崎
長崎と対戦するのは開催県愛知、観衆の注目の一戦である。近本は前後の素早い足捌きから、面を放つが白石はこれをうたせない。勝負をいそだか白石は引き胴を打つが、さがり際の面を許す。北村の上段から勝車をかける。4対0愛知が圧勝し、攻めの剣道が印象にのこつた。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	長崎	白石	石原	0	1
長崎	(メ)	(メ)	(コ)	5	6

● 愛知 - 奈良
一気に愛知に傾き、中堅戦で勝負が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	奈良	近本	浜田	1	1
奈良	(コ)	田口	松田	0	0

● 愛知 - 熊本
一気に愛知に傾き、中堅戦で勝負が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	熊本	多田	木内	1	1
熊本	(メ)	(コ)	(コ)	0	0

● 愛知 - 鹿児島
一気に愛知に傾き、中堅戦で勝負が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	鹿児島	末盛	渡口	2	3
鹿児島	(メ)	(コ)	(コ)	3	4

● 愛知 - 佐賀
一気に愛知に傾き、中堅戦で勝負が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	佐賀	溝口	古賀	1	2
佐賀	(メ)	(コ)	(コ)	2	3

● 愛知 - 長崎
一気に愛知に傾き、中堅戦で勝負が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	長崎	白石	石原	0	1
長崎	(メ)	(メ)	(コ)	5	6

● 愛知 - 奈良
一気に愛知に傾き、中堅戦で勝負が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数	総本数
愛知	奈良	近本	浜田	1	1
奈良	(コ)	田口	松田	0	0

● 愛知 - 熊本
一気に愛知に傾き、中堅戦で勝負が決まる。実力伯仲だけに一瞬の隙、打つべき好機を確実にものにする愛知の試合ぶりで、準決勝に駒を進めが決まる。

	先鋒	中堅	大将	勝者数

おめでとうございます
称号及び設立合格者

徳田廣隆	吉田 努	高橋耀子	山内 猛
安藤賢治	大島溢子	重松ミチ子	(54)
大島溢子	川原田道	中池喜三郎	(62)
川原田道	伊藤重信	山本重興	(75)
伊藤重信	曾田 靖	宮本忠士	
曾田 靖	大竹伸二	澤田善弘	(33)
大竹伸二	上成一彦	尾出敏博	(41)
上成一彦	石川 力	46	(52)
石川 力	島 賢児	勝野伸太郎	(27)
島 賢児	三宅和寿	石橋一雄	(36)
三宅和寿	廣國憲治	脇谷延雄	(34)
廣國憲治	瀧 順一	伊佐治繁	(43)
瀧 順一	居合道五段(六年十一月二十三日名古屋)	中西勝則	
居合道五段(六年十一月二十三日名古屋)	松岡康弘	小島蓼司	
松岡康弘	久野幸作	笛川芳成	
久野幸作	井上良昭	加藤明之	
井上良昭	伊藤勲次	後藤寅雄	
伊藤勲次	清沢吉徳	村田佐知子	
清沢吉徳	永 忍夫	田中啓四郎	
永 忍夫	後藤時子	龜井幸雄	
後藤時子	井関朝子	早川照子	
井関朝子	森本英二	大岩祐司	(51)
早川照子	(59)	(42)	
杖道五段(七年三月五日豊橋)			

財団法人 愛知県剣道連盟 事務局長 竹味由登
〒453 名古屋市中村区鳥居通2-41 ウチフジビル2F
TEL 052-481-0093 FAX 052-481-0095

尾張地区剣道連盟 事務局長 寺澤将美
〒491 一宮市八幡4-1-28 一宮武道館内
TEL 0586-43-1023 FAX 同じ

名古屋市剣道連盟 事務局長 田中 弘
〒454 名古屋市中川区露橋 1-31-20 富士美ビル
TEL 052-361-8073 FAX 同じ

尾南地区剣道連盟 事務局長 伊藤勲
〒477 東海市高横須賀町真光寺20番地
TEL 0562-32-0103 FAX 同じ

西三河剣道連盟 事務局長 浅井善七
〒446 安城市相生町 3-7
TEL 0566-76-1194 FAX 0566-75-3664

東三河剣道連盟 事務局長 富田孝夫
〒443-01 蒲郡市形原町西御屋敷28-2
TEL 0533-57-2769 FAX 0533-69-7117

連盟所在地

おめでとうございます		称号及び段位合格者	
剣道範士	(六年五月八日京都)	居合道教士	(六年五月四日京都)
深川辰磨	(65)	水野 登	(84)
剣道教士	(六年五月八日京都)	古山秀春	(44)
伊藤勲次	(51)	内藤 勉	(61)
舟津正人	(30)	河野鎧三	(73)
中本浩巳	(33)	森 康次	(37)
池田辰英	(42)	倉地 徹	(37)
加古秀男	(46)	加藤 誠	(44)
阿部孝雄	(46)	前田利和	(46)
田島喜好	(49)	成瀬和憲	(47)
武田徹也	(53)	山下恒典	(49)
井関栄三郎	(59)	菅原 實	(56)
剣道七段	(六年五月八日京都)	早川喜六	(63)
上田良介	(36)	上田良介	(36)
長谷川則由	(44)	杉山俊輔	(51)
山部貴文	(29)	三浦康弘	(51)
足田哲之	(35)	渋谷敏弘	(40)
木越賢治	(40)	山部貴文	(29)
中村憲治	(41)	日比野隆夫	(35)
加藤洋一郎	(44)	杉山俊輔	(51)
剣道六段	(六年五月十五日愛知)	深谷昌司	(39)
長谷川則由	(44)	木越賢治	(40)
三浦康弘	(51)	中村憲治	(42)
上田良介	(36)	大森 定	(40)
山部貴文	(29)	豊里達也	(47)
日比野隆夫	(34)	加藤洋一郎	(45)
日比野隆夫	(34)	中村憲治	(40)
長沼嗣雄	(40)	加藤秀夫	(43)
加藤洋一郎	(44)	長沼嗣雄	(41)

剣道七段	(十一月二十九日東京)	片山 隆	(57)
寺澤英樹	(37)	中田知則	(41)
高嶺豊樹	(40)	久保多加史	(43)
井上一久	(47)	籠谷克美	(57)
武田信三郎	(65)	大西正幸	(66)
野尻辰夫	(66)	近藤元治	(67)
剣道六段	(六年十一月二十日愛知)		
中山睦友	(30)	松橋建雄	(33)
安東孝吉	(37)	池谷敏夫	(37)
平松俊三	(39)	佐野洋治	(43)
園部 学	(44)	古田秀直	(46)
矢野憲二	(48)	木下 泰	(50)
榎原正雄	(61)		
居合道教士	(十一月三十日東京)		
木村靜哉	(66)		
居合道七段	(十一月十九日東京)		
竹内秀式	(66)		
居合道六段	(十一月十九日東京)		
本多勇夫	(66)		
剣道範士	(七年五月八日 京都)		
鈴木守治	(74)		
剣道教士	(七年五月八日 京都)		
寺澤英樹	(37)	久保多加史	(43)
井上一久	(47)	大西正幸	(66)
野尻辰夫	(67)		
剣道錬士	(七年五月八日 京都)		
安東孝治	(37)	池谷敏夫	(39)
山本靖和	(42)	佐野洋治	
吉田秀直	(46)	矢野憲三	(49)

木下 泰	(50)	榎原正雄	(62)
大河内鉄彦	(34)	中本浩巳	(34)
森 健志	(36)	竹崎裕恭	
津田 悟	(40)	鈴木 瞳	(36)
高橋正法	(44)	田中章市	(46)
大河内園雄	(56)	宮下靜雄	(56)
剣道六段	(七年五月十四日)	愛知	
神谷秀明	(38)	大藪均一	(39)
筒井政行	(40)	堀田之人	(40)
興梠美津明	(42)	寒竹富士雄	(44)
岡田英明	(46)	金原秀男	(47)
井手 勇	(51)	加藤秀美	(52)
杉山直宏	(53)	平島 公	(61)
秋山武敏	(62)		
居合道教士	(七年五月四日)	京都	
竹内秀式	(67)		
居合道教士	(七年五月四日)	京都	
木ノ本みゆき	(64)		
杖道教士	(七年五月四日)	京都	
片田征治	(55)		
居合道七段	(七年六月十二日石川)		
吉田神一	(39)	勝野隆治	(61)
剣道七段	(七年九月十七日 広島)		
西野紘一	(53)	武野博文	(56)
中村秀樹	(28)	中村友治	(28)
河村篤範	(32)	平井宣壽	(32)
齊藤雅昭	(36)	的場克也	
秋山一之	(44)		
乙部 清	(48)		

編集後記

半世紀に一回巡ってくる団体
第四十九回わかやま国体は、地
元の皆様の御協力と、県剣道連盟
の役員の皆様の努力により、盛会
のうちに無事幕を閉じることができ
ました。更に成年一部、成年二部と
も、愛知が優勝と花をそえ、この記
念すべき大会を記すべく、この号
を国体記念号として編集しました。
残念ながら、頂度その間、県連
役員の改選交替があり、折角の企
画も一年程遅れて、再出発の憂目
になつたことをお詫び申します。

“観の目”九号から十九号迄の長
き間、編集の仕事をしてきました当編
集委員会も、今回、主力が本号ま
でで交替することとなりました。
長年、当誌を御愛読を頂き、感謝
申し上げると同時に、今後は新編
集委員会で行いますので、今までと
同様御愛読頂くことをお願い申し
上げます。

訃報

岩田 豊三（六十七才）

剣道範士 七段

愛知県剣道連盟 評議員
名古屋市剣道連盟 理事

名古屋市西区城北町一の一九
平成七年二月十九日 逝去

宮崎袈裟雄（七十一才）

剣道範士 七段

愛知県剣道連盟 評議員
岡崎市細川町字長根五三の四

平成七年二月二十八日 逝去

山口 和助（七十八才）

剣道範士 七段

東三河剣道連盟 相談役

宝飯郡御津町大字津野字新屋敷
平成七年七月十五日 逝去

柳田 左内（七十八才）

剣道範士 八段

愛知県剣道連盟 相談役

知立市昭和六の一 七一〇一〇一
平成七年九月四日 逝去

謹んで御冥福を

お祈り申し上げます

広報「観の眼」第十九号
平成七年十二月二十五日

財団法人愛知県剣道連盟

〒451名古屋市中村区鳥居通り
二ノ四一ウチフジビル二階
電話（〇五二）四八一〇〇九三
FAX（〇五二）四八一〇〇九五

題字・故竹田弘太郎名誉会長